

## 平成30年度 社会福祉法人 高崎福祉倶楽部 事業計画

1. 理念
    - ①生きる喜びを支えるケア
    - ②その人らしさを大切に一人ひとりの生活を支援
    - ③地域の方々に信頼され、福祉・文化・交流の拠点となる
  2. 基本方針
    - 介護保険事業に留まることなく、地域に必要な社会資源となる
  3. 事業計画
    - ① サービスの質の維持
      - 職員一丸となり利用者、職員の確保に努める
    - ② 人材育成と働きがいのある職場づくり
      - 内部研修の充実（外部講師招聘）
      - 資格取得支援と有給休暇の計画付与
      - 情報発信の継続
    - ③ 地域ネットワークづくり
      - デイサービス・ケアハウスを中心とした地域活動（地域貢献事業）の継続
      - 新たな人材の掘り起し
  4. 予算（借入金償還を含む）
  5. 事業別計画
- } ※別紙参照
6. 会議計画
    - ① サービス責任者定例会議 毎月1回 各事業所の責任者
    - ② 安全衛生委員会・危機管理委員会（①と同日） 毎月1回 各事業所の責任者
    - ③ 給食会議 毎月1回 各事業所の責任者
  7. 研修計画
    - ① 職員研修 毎月1回
    - ② 看取り・喀痰吸引の研修 年1回
    - ③ 感染予防、事故、身体拘束防止に関する研修 年4回（5・8・11・2月）
    - ④ 外部研修への参加（※認知症の理解等）
  8. 改修・購入計画
    - ① デイサービスフロアの改修（地域貢献事業、職員の福利厚生）

② 平成 29 年度からの繰越事業

- ・ケアハウスの空調設備、入浴設備等の改修及び照明機器の入替等大規模修繕の実施
- ・特養・通所・事務所・厨房等の冷暖房設備配管の改修、給排水設備の清掃・点検

9. 職員採用計画

- ① 介護福祉士養成校や社会福祉協議会、ハローワーク、派遣事業者との連携、シルバー人材、有償ボランティア等の活用による人材確保
- ② 居宅介護支援事業所の増員 ※職員の異動希望により通所介護事業所から居宅支援事業所へ 1 名異動 (1 名→ 2 名体制に変更)
- ③ 外国人技能実習生の受入

10. 介護報酬改定への対応

- |           |                             |                         |
|-----------|-----------------------------|-------------------------|
| ユニット型個室   | 基本報酬 1.7%増                  | 新設された加算の積極的な算定と要件確認     |
| 地域密着型通所介護 | 利用時間が 1 時間単位に変更されるが区分毎の増減なし | ※介護保険外も含めた柔軟なサービスの検討と実施 |

## 特別養護老人ホーム 悠ゆう事業計画

最後までその人らしい生き方を支え、地域住民の方々が気軽に利用できる施設を目指します。

### ◇特養・短期入所

#### < 目標 >

施設サービス計画による個別ケアの充実を図る

#### < 実施計画 >

1. 認知症への理解を深める
2. グループワークを取り入れた研修計画の立案
3. 働く人相互の思いやりと連携、キャリアパス（処遇改善）による人材育成
4. 慰問、ボランティア、行事を通じた地域交流の活発化

### 機能訓練

#### < 目標 >

個別機能訓練計画に基づく生活リハビリの実施

#### < 実施計画 >

1. 残存機能維持を目的としたレクリエーションの実施
2. 入居者の生活歴を踏まえた住環境の整備と日常生活の充実を図る
3. 口腔機能向上のための口腔体操を実施（誤嚥・インフルエンザ予防）

### 給食

#### < 目標 >

食べる楽しみと経口摂取の維持

#### < 実施計画 >

1. 食欲を刺激する献立、食事形態の工夫による経口摂取の維持に努める
  - ①季節感や生活感のある食事の提供
2. 栄養ケア計画に基づき経口摂取機能の適切な評価
  - ①ソフト食、酵素等を利用した嚥下食の研究
  - ②ファイバー（食物繊維）等の導入による排泄機能の改善
  - ③低栄養リスクへの対応

### 健康管理

#### < 目標 >

健康の維持と感染症の予防

#### < 実施計画 >

1. 健康管理と観察のポイント、疾病と服薬（皮膚の保湿）についての周知
2. 看取り、褥瘡予防、感染予防等の施設内研修の実施
3. 事故の予防と事故発生時の対応の周知
4. 職員の健康診断を実施（腰痛予防対策を含む）

## デイサービスセンター青葉 事業計画

地域でふつうに暮らし続けられることを目標に通所介護、介護予防・総合事業を提供します

### < 目標 >

気軽に利用できる地域密着型通所介護事業所として地域での役割を果たせるよう努める

(※平成30年4月1日介護予防・総合事業はみなし指定から更新した。)

### < 実施計画 >

1. 事業所内の軽費老人ホームと短期入所事業の担当者、居宅事業者やあんしんセンターとの情報共有と連携し利用者の確保を図る。
2. 地域における認知度アップを目指し積極的な情報発信をする。
3. 地域活動「歌って笑って健康体操」の定期開催と地域住民との交流を深める。
4. こどもからお年寄りまで誰でも気軽に立ち寄れる場所を提供する。

平成30年度 年間レクリエーション 計画表

デイサービスセンター 青葉

レクリエーションポリシー

レクリエーションをリハビリテーションの一部と位置づけ、参加しやすい形態で提供し、参加することによりADLの維持を図る  
 工作、調理などを通して機能の再獲得を図りながら人生の張りや生きがいを提供するとともに、デイサービス継続の動機付けとする

年間レクリエーション計画

項目 月	長期 レクリエーション	中期 レクリエーション	短期 レクリエーション	季節 レクリエーション	個別 レクリエーション	全体 レクリエーション	備考
4月			2 ゲーム 9 調理 11~工作 16 工作 18:ゲーム 23 ゲーム 30 ゲーム	五月飾り	数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む		
5月			7 ゲーム 14 工作 21 調理 28 ゲーム	端午の節句	数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む		
6月		↑ 春から夏・ 秋の花・ ハブなど	4 調理 11 ゲーム 18 ゲーム 25 工作	七夕飾り	数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む	季節ごとに張り 絵やちぎりの 制作	
7月	朝の挨拶時 ■手指運動 ■ラジオ体操 等必ず体操を行行		2 ゲーム 9 調理 16 ゲーム 23 工作 30 ゲーム・かき氷		数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む		
8月	昼食前 ■口腔体操	↑ あさが 夏から 秋の花	6 調理 13 ゲーム 20 ゲーム 27 ゲーム	お盆 おはぎ作り	数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む		
9月	午後の体操 ■下肢筋力体操 ■タオル体操 ■肩こり予防 体操 ■脳活性化手 指体操 ■発声練習		3 工作 10 調理 17 ゲーム 24 工作	敬老の日 十五夜 月見団子 運動会の旗飾り メダル作り	数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む		
10月			1 ゲーム 8 運動会 15 調理 22 ゲーム 29 ゲーム	恒例行事	数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む		
11月	掃りの挨拶前 ■歌 ■漢字クイズ ■連想ゲーム ■しりとり ■動体視カウ イズ ■パタカラ体操		5 調理 12 工作 19 ゲーム 26 ゲーム	クリスマス飾り ツリー飾り付け	数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む		
12月		↑ 冬から 春の花・ など	3 工作 10 調理 17 ゲーム 24 ゲーム	正月飾り作り クリスマス 正月用書道 そば打ち	数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む		
1月			7 ゲーム 14 ゲーム 21 調理 28 工作	書初め 上毛カルタ 鬼のお面	数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む		
2月			4 ゲーム 11 調理 18 工作 25 ゲーム	豆まき おひな様飾り 雛人形	数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む		
3月			4 ゲーム 11 調理 18 ゲーム 25 ゲーム	雛祭り	数字・絵合わせ 手作りパズル 大人のぬり絵 編み物 新聞を読む		

個別レクリエーション

- ・園芸
- ・数字合わせ
- ・絵合わせ(花・国旗・総理大臣・群馬のキャラクター)
- ・手作りパズル
- ・大人のぬり絵
- ・上毛新聞・読売新聞を読む
- ・いきいきカルタ、上毛カルタ

## ケアプランセンター悠ゆう 事業計画

住み慣れた地域で生活できるよう、一人ひとりに合った健康や福祉、医療に関する総合的なサービス提供に努めます。

利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の選択に基づき、適切なサービスが多様な事業所から総合的かつ効率的に提供されるよう配慮します。

### ＜ 目標 ＞

1. 信頼関係の構築を図り、地域や他事業所との連携を積極的に図る。
2. 新規利用者の獲得。

### ＜ 実施計画 ＞

1. 近隣の病院、薬局、高齢者あんしんセンターや地域等の社会資源を積極的に活用する。  
職員増員に伴う新たなネットワークの構築、新規契約者獲得への営業活動強化。
2. 地域のイベント等に積極的に参加し地域との交流を図ると共に当事業所の存在を随時アピールしていく。
3. 当事業所のイベントに参加してくださる地域の方々の相談窓口となり、地域の課題の解決に向けて情報収集、提供体制を整える。

## 平成 30 年度 ケアハウス「グリーングラス」事業計画

### < 目 標 >

入居者様がその人らしく自立した生活ができると共に、安心して明るい共同生活を実現するために支援を行い、居宅介護支援事業所、デイサービス、ショートステイ等全部署との連携を図り、より快適な生活が送れるよう、必要なサービスを活用し、自分の意思で行動できるように支援する。

### < 実施計画 >

1. 入居者やその家族の相談に応じ、自立した生活ができるよう各種相談・手続き等の支援を行う。
2. 一人ひとりの嗜好を考慮し、高齢者に適した食事の提供を行う。
3. 入居者の心身の状態変化に迅速かつ的確に対応するため、家族や担当介護支援専門員と密に連絡・情報交換を行う。
4. 月 1 回以上、健康チェック（血圧・脈拍・体温・体重等の測定）を実施。また、年 1 回以上、健康診断の受診を促すことで、疾病の早期発見、早期治療に繋げる。
5. 買物送迎を月 1 回以上実施する。
6. 他事業所等、関係機関の担当者へ利用状況の報告を行う。加えて、施設見学者に対し希望者には入所申込書を配布することで入居希望者を募り、待機者確保に努める。

### < サークル活動・レクリエーション >

1. 入居者相互の親睦を図り、お互いに助け合いながら楽しく生活できるよう援助する。
2. 季節の外出行事を主催することで四季を感じて頂く。また、意欲低下の見られる入居者も参加しやすい行事を提供し、意欲増進を促す。
3. 介護予防の体操や頭の体操を行い、入居者の健康寿命の増進を図る。

平成30年度 レクリエーション年間計画

ケアハウス「グリーングラス」

項目 月	長期 日課	週 期 隔週1回	月 毎 月2回	レクリエーション 月1回	季 節 外出行事	健康チェック
4月	ラ 手 指 ・ 上 下 肢 体 操 ・ パ タ カ ラ 体 操	移動販売	健康体操	音楽会	桜見学	血圧・体重測定
		買物ツアー				
5月		移動販売	健康体操	音楽会		血圧・体重測定
		買物ツアー				
6月		移動販売	健康体操	音楽会	紫陽花見学	血圧・体重測定
		買物ツアー				
7月		移動販売	健康体操	音楽会		血圧・体重測定
		買物ツアー				
8月		移動販売	健康体操	音楽会		血圧・体重測定
		買物ツアー				
9月		移動販売	健康体操	音楽会		血圧・体重測定
		買物ツアー				
10月		移動販売	健康体操	音楽会	コスモス見学	血圧・体重測定
		買物ツアー				
11月		移動販売	健康体操	音楽会		血圧・体重測定
		買物ツアー				
12月		移動販売	健康体操	音楽会		血圧・体重測定
		買物ツアー				
1月		移動販売	健康体操	音楽会	初詣	血圧・体重測定
		買物ツアー				
2月		移動販売	健康体操	音楽会		血圧・体重測定
		買物ツアー				
3月		移動販売	健康体操	音楽会		血圧・体重測定
		買物ツアー				



## 平成 30 年度特別養護老人ホーム 悠ゆうみなみちょう事業計画

悠ゆうみなみちょうの事業運営は、基本理念に基づき、利用者の喜びを支えるケアの提供、利用者の尊厳を守り、個性性を重視し、地域の方々に信頼される施設づくりを継続して推進していきます。29 年度稼働できなかった短期入所事業及び連結ユニットの稼働再開を最優先に取り組み、加えて、職員確保と地域貢献を目的とする託児所等の計画を推進します。

### < 全体目標 >

- 1 チームケアを実践し、ご利用者が安心・安全に生きがいのある生活が送れるよう支援する

### < 実施計画 >

- 1 入居者の生活習慣や生活様式を把握し、個別のニーズに沿った支援を行う
- 2 事故や不安のない（安心・安全・楽しい）生活を実現する。
- 3 部署内及び多職種間の情報共有と連携を徹底し、チームケアを実践する。
- 4 サービスの平準化と質の向上のため職員研修や勉強会を実施する
- 5 地域との連携を密に行い、ボランティアを積極的に受け入れる

## 機 能 訓 練

### < 目 標 >

- 1 毎日の生活の中で入居者が残存機能を維持出来るように援助する

### < 実施計画 >

- 1 個別に状態の把握に日々努め可能な限り自立支援を行う (1) 自立支援を職員が理解し実践する。(2) ケアプランに位置づける。
- 2 余暇活動を充実させ日常生活に機能訓練を取り入れる (1) 午前・午後の活動を日課に位置づける。(2) 機能訓練加算の体制を整える。
- 3 日常生活に即した訓練（起立、歩行等）を行い、残存機能を維持する。(1) 生活リハビリ、自主訓練プログラムをケアプランに位置づける。

## 給 食

### < 目 標 >

- 1 これまでの食習慣を尊重し、栄養・食事内容の充実を図る
- 2 食事の時間が楽しみになって頂けるよう工夫し食事提供を行う

### < 実施計画 >

- 1 摂食意欲が維持できる食事を提供し、経口摂取の維持に努める (1) 医務、ユニット等チームケアの実施
- 2 誤嚥や誤飲等の事故の予防 (1) ソフト食等嚥下食の提供 (2) 状態変化による食事形態の変更にユニット、医務と連携し、迅速に対応 (3) 食事変更に伴うカンファレンスへの参加
- 3 入居者とのふれあい (1) 食事状況の立ち会い評価 (2) 定期的な嗜好調査の実施
- 4 適切な食事提供への研究 (1) 嚥下食の研究 (2) 栄養価主体メニュー (3) 地域食材の提供

(4) 季節感や生活感のある食事の研究

医 務

< 目 標 >

- 1 入居者の自立支援
- 2 感染症の予防

< 実施計画 >

- 1 入居者の健康管理及び自立支援 (1) 健康管理 (2) 自立支援
- 2 ショートステイ入居者の健康管理 (1) 利用中の健康管理・相談と薬剤管理。
- 3 看護・介護の質の向上 (1) 職員への疾病と服薬についての研修の実施。(2) 看取り・褥瘡予防・感染予防等、施設内研修会の実施。(3) 事故予防と事故対応の研修の実施。
- 4 職員の健康管理 (1) 年2回の健康診断の実施。

短期入所事業

< 全体目標 >

- 1 短期入所事業を再稼働する
- 2 利用者の自立支援と家庭での生活ペースに合わせた援助を行うと共に家族の介護負担軽減と地域に根付いたサービスの提供を行う。

< 実施計画 >

- 1 速やかなショートの入入れ  
(1) 居宅の介護支援専門員等からの依頼に速やかに対応する。(2) 緊急ショートの入りに速やかに対応する。
- 2 利用者やその家族からの要望等に対しての適切かつ迅速な対応を行う。
- 3 利用中の事故防止に努め、事故発生及び緊急時には家族・居宅介護支援事業所への連絡など、迅速に対応は基より、事前に家族等と対応について協議しておく。
- 4 利用者の情報を全職種で共有する。
- 5 地域の民生員や地域包括、在宅支援等の関係機関及び在宅サービス事業者、病院等との連携を図り、地域ボランティア等も積極的に受け入れる。

放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

< 全体目標 >

- 前橋市より委託を受ける